



俺と海苔



book-fukunokami

俺と海苔

「俺もご飯と海苔を食うんだ」

俺は一人で叫んだ。

「しーん」

俺は一人だった。

むなしくなった。

俺は海苔を売ってる店へ行った。

「海苔ください」

「へい海苔ね、高いのから安いのまであるよ」

「この一枚一万円のやつください」

「いいのかい、高いよ」

「ぜひ、食べたくまりました」

俺は一枚一万円の海苔を買った。

そして家へ帰りご飯と食べた。

一枚一万円の味がした。